

課題名	29. ハウスミカン園の栄養診断結果について										
成果の要約	1. 土壌pHが土壌診断基準より低い園地がかなり見られ、改善の必要がある。一方、降雨による養分の溶脱がないため、土壌の電気伝導度、交換性カリ、有効態りん酸等がかなり高い水準にある。 2. 葉中のカリ含量は、共通して低い傾向にある。また一部の園地では、ホウ素とマンガンが過剰、銅とホウ素が欠乏の限界値をこしている。										
成績	1. 土壌の化学性 (62年)										
	地区名	pH(H ₂ O)	pH (KCl)	EC	CaO	MgO	K ₂ O	Mg/K	P ₂ O ₅		
			(μ S/cm)		(me)				(mg/100g)		
	南高(11)	5.49	5.11	648	14.2	3.7	2.3	1.7	189		
	松浦(18)	5.89	5.27	154	10.8	2.4	1.3	2.0	36		
	大村(13)	5.40	4.97	161	8.5	2.6	1.3	2.1	92		
	西彼(21)	5.59	4.97	162	8.0	1.7	0.8	6.5	105		
	江迎(5)	5.44	4.89	220	7.6	2.3	1.2	2.6	85		
	長与(1)	5.65	4.56	133	9.8	2.8	1.0	2.7	43		
	適正範囲	5.5—6.2	5.0—5.8		5.0<	1.0<	0.4—0.8	2<	*		
概要	2. 葉中無機成分組成 (62年)										
	地区名	N	P	K	Ca	Mg	Fe	Mn	Zn	Cu	B
				(%)				(ppm)			
	南高	2.72	0.123	1.00	4.06	0.361	45.6	50.0	28.7	5.2	71.5
	松浦	2.80	0.136	1.21	2.82	0.326	54.2	58.8	19.3	4.2	60.7
	大村	2.66	0.110	0.79	3.77	0.431	50.9	89.1	21.6	5.7	38.4
	西彼	2.72	0.128	0.84	3.27	0.347	50.9	108.9	20.0	6.3	48.2
	江迎	2.88	0.131	0.81	3.51	0.397	62.2	84.4	22.2	3.2	38.8
	長与	2.59	0.118	0.67	3.67	0.521	58.7	108.5	22.1	10.3	73.3
	適正範囲	2.5—	0.15—	1.0—	2.5—	0.3—	50—	30—	30—	5—15	30—
		3.2	0.18	2.0	4.0	0.5	150	100	150		100
	注) 地区名の () 内は調査圃数。 * ; 火山灰土 5<、非火山灰土 15<										
	(長崎県果樹試験場)										
普及上の留意点	土壌分析及び葉分析の結果に基づいて、高品質安定多収のための土壌及び肥培管理を行う。										